

## R5年度 愛知県母子寡婦福祉大会 (R5年11月11日)

令和5年度愛知県母子寡婦福祉大会が小規模ながら、無事盛会裡に終了しました。長引いたコロナ禍の影響は薄れましたが、毎年開催会場となっていたウィルあいちのホールはまだ改装工事中のために、ウィルあいち大会議室での開催となりました。

開会のことば、理事長挨拶、黙祷、秩父宮妃殿下御歌斉唱、優良母子家庭表彰、役員永年勤続感謝、中日新聞社会事業団賞表彰、来賓祝辞、祝電ご披露、中日賞体験発表、休憩、講演、大会決議、申し合わせ事項、生き抜く白ゆり斉唱、閉会のことば

愛知県知事大村秀章様(愛知県福祉局長植羅哲也様代読)名古屋市長河村たかし様に代わり名古屋市子ども青年局長佐藤誠司様ご祝辞、愛知県社会福祉協議会会長鈴木雅雄様(専務理事吉田和裕様代読)ご臨席及びご祝辞を賜りありがとうございます。

4年振りの講演は、前理事後藤幸子様の姪御さんで、名古屋を中心に各地で活躍中の女流漫談家のさやか結を講師にお迎えて、さやか結の抱腹絶倒ライブ『笑顔でつながる、みんなのWA』と題して、笑いと共に学びの90分でした。魅力いっぱいのさやか結さんの話術に引き込まれ、とても楽しく、会場が笑いに包まれました。

大会決議では、参加者一同、子どもの健全育成を願って、今後ともひとり親家庭寡婦福祉事業推進のために活動していくことなどを誓い合いました。



### 中日賞

平成2年当時、我が家は主人と私子ども3人と夫の母との6人家族でした。

主人と二人で農漁業(稲作と野菜の出荷、海苔養殖とアサリ取り)を職業として生計を立てていました。主人はどんな事にも研究熱心で仕事に精を出していました。出荷する製品も他の方よりも値よく売れることが多かったと思いました。その為、私自身も仕事をするのが楽しく働かがありました。

2月25日朝早く二人で海へ生海苔を収穫に行きました。一日分の仕事量を取り終えると家に帰り、私は板海苔に乾燥加工するために作業を始めました。

主人はもう一度、海へ戻り見回り作業をしと一人で行かれました。11時過ぎた頃、夫が他の船に衝突され意識不明になっていると連絡がきました。港にかけつけると、そのまま救急車で搬送されました。病院で色々手当を受けましたが、先生からは「今晩一晩もちまさんので覚悟しておいてください」と言われ聞き返す言葉もなく何でと思うだけでした。ところが翌日もその翌日も意識は戻りませんが弱い呼吸はしていました。回診の度に先生から「何がどうなっているのかこの状態いつまで続くのか解らない」と言われるだけでした。

しかし、28日夜長男が家に帰る時こう言いました「おやじは、言葉では言えないから無言で僕達に、誰に何を言われようががんばれよ、頑張れば何とかなるからと教えてくれたらいいんだよね、もうよくわかったから楽になってよ」と言いました。すると意識がないはずの夫の目から涙がひとすじ流れたような気がしました。「明日朝くるからね」と子ども達は帰っていきました。

しかし、翌日朝早く先生から「皆さんすぐに来てもらってください」と言われましたので連絡しました。おかげで皆に見守られて息を引き取りました。3月1日早朝の事でした。長女21歳会社員、長男20歳大学生、次男17歳高校生でした。

葬儀には、ご案内を出した方の倍以上の皆さんがお別れに来て下さり、子ども達は改めてお父さんを尊敬するよと言っていました。私もそう思いました。

### 西尾市母子寡婦福祉会一色地区 石川せつ子

初七日が終わってから、子どもたちと家の状況や家計について話し合いました。主人はいつも子ども達には好きな道に進ませたいと言っていました。私も同じ思いでしたので、今選んだ道を不安なく続ける為にも大事なことだと思いました。学資保険・学生保険・育英年金・教育資金等々借入れ金額から返済方法についてまで話し合いました。「社会人になるまでは応援するから」と25年ぶりに会社員として働きました。子ども達が社会に出るまで何も言わずに応援しました。子ども達も自分の決めた道に迷う事なく努力し、やりたい事、入社したい会社に進み自立してくれました。それぞれが独立独歩の生活に入りました。

今では、それぞれ家庭を持ち子どもも生まれ家族仲良く元気が一番と暮らしています。結婚費用一式・家の購入費用等、すべて自身の収入の範囲で行動してくれています。それは私に頼っても余裕はない事を知っているからです。

今我が家のモットーは、それぞれ独立独歩で生活するです。

私が今一番感謝している事は、当時一色母子寡婦福祉会にお誘いを受けて素直に入会したことです。当時私は突然の環境変化に母子家庭の福祉の仕組みも知らず解らずでした。私は不幸不運だと思っていまませんでした。それ以外は考えも及ばず頑張るしかない心に決めていました。しかし会の行事に参加しますと子どもさんが幼かったり小学生だったり、まだまだ子育てに苦労されている皆さんを知ったことです。また自営業のため家の中の事しか知らなかった私は行事に参加することで多くの事を勉強させていただきました。多くの人に助けられて今があるのだと実感し感謝しました。義母も平成7年に亡くなり私の役目も一つ済みしました。

会社退職後は今までお世話になった皆さんに少しでも恩返しできればと思いました。大病もしましたが元気に独立独歩をモットーに習い事にヨガ教室・運動のためにグランドゴルフも始めました。そして地域活動への参加を始め会の活動やボランティア活動にと出来る限り参加するように心がけています。

これからも家族に迷惑をかけないように、今の穏やかで楽しい生活が続くようにと心から願っています。そのための努力は続けます。最後に良い家族みんなに「ありがとうね」と心から感謝している言葉を今伝えたいです。

## 令和5年度 白ゆり学級『化粧のちから』がもたらす『いいこと』(R5年9月9日)

資生堂ジャパン株式会社様の、「誰一人取り残さない」というSDGsの理念に基づいた温かいご厚意のご協賛により、当会所属の愛知県内各地区母子寡婦福祉会の会員、ひとり親家庭及び寡婦の皆様に向けての「化粧のちから」と題して、ご講演とワークショップを開催しました。

「化粧のちから」を通じた対応をする専門職「資生堂ソーシャルエリアリーダー」「資生堂ソーシャルエリアパートナー」様のご講演とワークショップを体験終えた参加者は、どの方も、キラキラ輝き、お肌の色も2ランク以上アップした感じがしました。

参加者全員を明るく笑顔にして、「化粧のちから」の凄さを体感しました。おひとりおひとりの記念撮影でも、お花を胸に、乙女に戻ってみえました。

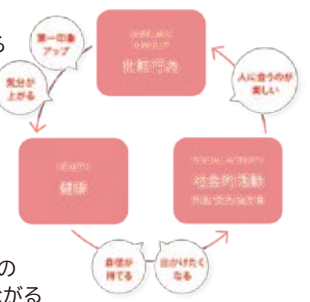


### 「化粧のちから」がもたらす「いいこと」

自分らしさを演出・表現するという「外に働きかける」作用と共に、自分に自信がもてたり、癒したりするという「内面に働きかける」作用がある学びました。

- ◎若わかしくなる
- ◎気持ち明るくなり、出かけたくなる
- ◎外出した時に自信が持てる
- ◎他の方の笑顔を引き出す
- ◎何となく、気分が上がる
- ◎気持ちがしゃきとする
- ◎自己肯定感が高まる
- ◎人に会うのが楽しくなる
- ◎第一印象がアップする
- ◎ご高齢の方においては、握力や上肢の筋力トレーニングや脳の活性化につながる

「化粧のちから」が生み出す好循環もあります。(上画像) この効果は凄いいと思いました。



資生堂ジャパン株式会社様には、当会が行政から受託する、ひとり親家庭寡婦対象の「就職フェア」でもご協賛いただいています。資生堂ジャパン株式会社様には、心より御礼申し上げます。